

講師プロフィール 松井 一洋 (まつい かずひろ) さん

広島経済大学 メディアビジネス学部メディアビジネス学科教授

大阪府出身。早稲田大学第一法学部卒業。

1995年の阪神大震災に被災され、その後、NHK放送文化基金が主催する「災害放送プロジェクト」に参画、引き続いてNPO日本災害情報ネットワークの理事長を務められました。

2004年、広島経済大学に招聘され、メディアビジネス学科の創設に尽力され、主任教授を長らく務めておられました。

2008年からは、内閣府の支援のもと全国的に実施されている防災士養成研修の講師として、現在までに420回、約5万人の防災士に「災害情報と災害報道」、「災害心理」、「地域の自主防災組織」などのテーマを中心に講義されてこられました。

また、広島県の自主防災組織活性化プロジェクトのトータルアドバイザーとして、広島県消防学校の新任教育や各自治体主催防災リーダー研修なども担当され、学務に加えて、多忙な日々を送っておられます。

2014年の広島市土砂災害後には、広島市の危機管理室の整備に尽力、昨年7月の西日本豪雨後の「広島市避難行動等検証会議」や「広島県安芸郡坂町有識者会議」の委員として地域防災政策に関する提言をまとめられました。

現在は、中国地方におけるソフト防災の第一人者として、自治体や企業の防災研修をはじめ、各市町村の防災リーダー養成研修等にも尽力されておられます。

自己紹介

広島経済大学 経済学部教授

松井一洋(まつい かずひろ)

1949年7月生 大阪府堺市出身・早稲田大学卒業

東日本大震災前の石巻市役所前(2010.11)



〇わたしと防災のかかわり

1. 阪神淡路大震災(1995.1.17)

★大震災当時、関西私鉄の広報マネージャーのち広報室長兼東京広報室長、子会社2社の社長など(2003年まで)

<社外活動>

- ①1996 NHK災害放送研究プロジェクト専門委員としてマスコミの大災害時の放送用語策定に参画
- ②1996 KANSAIライフライン・マスコミ連絡会事務局長
- ③1999 日本災害情報学会の設立に参画(広島赴任以来、学会活動はすべて休止)
- ④2001～2010 NPO日本災害情報ネットワーク理事長(大阪・静岡・仙台・松山・鹿児島で活動)
- ⑤2008より 防災士養成研修講師、自治体等の防災リーダー研修講師等
- ⑥2018 平成30年7月豪雨、広島市検証会議副座長、同安芸郡坂町有識者会議副議長

2. 2004.4 広島経済大学…企業広報論, マーケティング論, メディアと法, 災害情報論

★広島経済大学『防災まちづくり実践講座(地域住民と学生が共に学ぶ授業)』を毎年開講。

<学外活動>

- ①2007～2009 広島市安佐南区「まちづくり懇談会」座長
- ②2007より広島県「地域まるごと子ども見守り」防犯ボランティア交流会コーディネーター
- ③2008 コミュニティFM「エフエムハムスター」(安佐南区)を開局
- ④2009より日本防災士機構防災士養成研修講師(災害情報論・災害心理学・企業防災論・地域防災活動)
- ⑤2009より広島県消防学校初任教育講師
- ⑥2010より広島県「自主防災活動活性化プロジェクト」トータル・アドバイザー